

4-3 日高市における地域公共交通活性化・再生総合事業

日高市地域公共交通総合連携計画の目標

- (1)ITとマーケティングをダイヤ計画に取り入れ利用者利便を損なわないダイヤの最適化により無駄な運行コストを削減。収支改善
- (2)GIS、人口統計データ、バス運行データ活用による路線再編成、人口増加地域における潜在的バス利用者の増加を図る。
- (3)バス運行データ、利用者アンケートの結果、評価等を共有し、路線バスを維持させるための協力体制構築。

20年度事業の実施状況

1. 事業の内容

- (1)高性能乗降センサー導入。調整後95%以上の取得精度達成。
- (2)乗降データ取得、蓄積、レポートシステムの構築
- (3)乗降データの取得開始。21年4月からのダイヤ改正に応用
- (4)PDCAサイクルによる継続的なダイヤ改善

1) 乗降センサー(ドイツ社製)



2) 車載コンピューター(イスラエル社製)

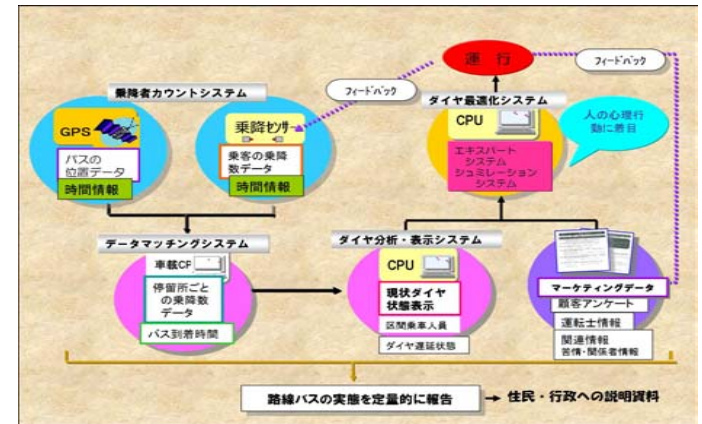


日高市地域公共交通活性化協議会

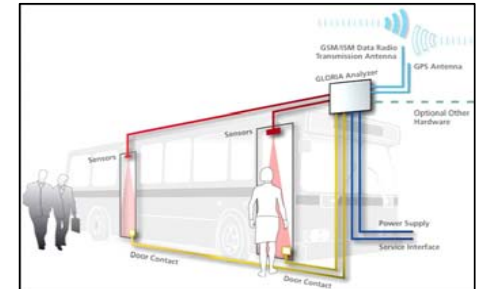
日高市、イーグルバス(株)、住民代表、公安委員会、埼玉陸運支局、道路管理者

【事務局】日高市企画財政部企画課内
042-989-2111

4) ダイヤ最適化概要図



3) 乗降センサー導入イメージ



2. プロセス、創意工夫

事業を進めるにあたってのプロセス

■2006年よりPDCAサイクルによる住民アンケートの実施と運行ダイヤ評価を継続実施。

■利用者ニーズと運行データを取り入れた運行ダイヤの改定を、今回まで2回実施。

■運行ダイヤ改定評価アンケートの結果とバス収支の実情を年1回レポートとしてまとめている。

■日高市こま川団地・日高団地地域公共交通活性化協議会の設立で、行政、地域住民、バス会社が協議する場所を持った。

■協議会で、今までの評価アンケートのまとめと路線バスの現状が住民と行政に報告され、情報と問題点の共有化を実施した。

■日高地域の路線バスの改善手法についてイーグルバス(株)と埼玉大学が実施しているダイヤ最適化プロジェクトを発展させる提案がなされ協議会で承認された。

■事業主体はイーグルバス(株)と埼玉大学が担当し、地域住民がこれに協力する体制とする。

■事業費については事業費をイーグルバス(株)と国からの総合事業費補助金で賄う。

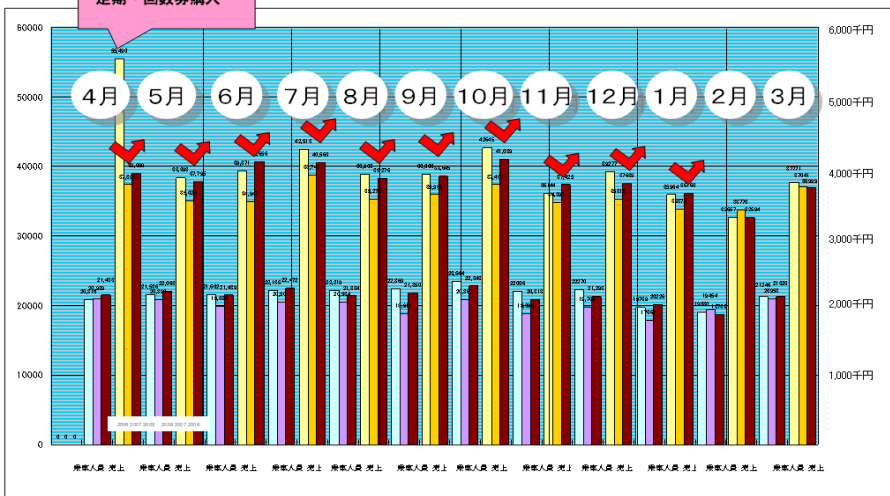
3. 事業費等(単位:千円)

■総事業費	9,932	●事業者負担金	4,966
		●総合事業費補助金	4,966



バス会社変更による
定期・回数券購入

4. 利用実績推移



6. 今後の課題

- 低乗車密度区間の小型バス化による固定コストの削減
- 高齢者利用促進のためのデマンドバス導入調査
- GIS(地図情報システム)とのシステム連動による潜在利用者がいる場所への停留所設置

21・22年度の事業予定

- 取得バスデータを加えた運行ダイヤ改正..... 21年4月
- バスデータによる非効率運行区間の抽出..... 21年度・22年度
- バス乗車密度に基づく小型バス導入と高齢者利用促進経路調査..... 21年度・22年度
- バスデータ分析・表示、最適化システムの構築..... 21年度・22年度

5. 事業実施効果

- 乗車人員、売上げが対前年比初めて向上
- ダイヤ改善評価が前年35%から55%へ向上
- 距離と時間1分、1Kmをコストユニットとして認識することでダイヤ改正による固定費コストが10%改善した。

2008年ダイヤ改定評価

